

様式第26の4 (第62条の2の2関係)

記入例

特定屋外タンク貯蔵所の保安検査時期延長申請書 (タンクの腐食量に係る管理等の状況)

塩釜地区消防事務組合 管理者 殿		申請者		住所 ○○県○○市(○○町) (電話 ○○-○○)		年 月 日
				氏名 ○○(株) 代表取締役 ○○ ○○		印
設置者	住所	○○県○○市(○○町)		電話 ○○-○○		
	氏名	○○(株) 代表取締役 ○○ ○○				
設置場所	○○県○○市○○町					
タンクの呼称 又は番号						
設置の許可申請 年 月 日	○○年 ○○月 ○○日					
設置の許可年月日 及び許可番号	○○年 ○○月 ○○日 指令第 ○○○ 号					
基準適合届出	新基準適合届出(年 月 日)・第一段階基準適合届出(年 月 日)					
貯蔵危険物の類、品名、化学名	第 類					
貯蔵最大数量	k l					
水等の管理	屋根形式(固定屋根 ・固定屋根以外)・水等成分管理の実施*(<input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無)					
貯蔵危険物の腐食性	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無					
次期開放時期	次期開放予定次期		年 月			
板厚測定値	アニュラ板の板厚測定値		mm	底板の板厚測定値		mm
貯蔵条件	油種、管理温度、不活性ガス封入等腐食の発生に著しい影響を及ぼす貯蔵条件の変更の予定					有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
タンクの腐食率*	アニュラ板	設計板厚	mm	底板	設計板厚	mm
		検査時最小板厚	mm		検査時最小板厚	mm
		最小板厚	mm		最小板厚	mm
		腐食率が最大となる板の経過年数	年		腐食率が最大となる板の経過年数	年
		腐食率	mm/年		腐食率	mm/年
板厚予測値	mm					
コーティング*	種類	① ガラスフレークコーティング ② ガラス繊維強化プラスチックライニング ③ その他()				
	施行の区分	新規 ・中途・塗り替え (コーティング施行年月日 年 月 日)				
	コーティング管理技術者氏名	○○(株) ○○ ○○				
加温貯蔵の有無	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無					
基礎内部の排水措置の状況						
タンク底部外面の腐食防止措置*	外面防食措置	アスファルトサンド ・電気防食・その他()				
	雨水浸入防止装置	<input checked="" type="checkbox"/> 適・ <input type="checkbox"/> 否				
補修・変形*	補修の適否	適・ <input checked="" type="checkbox"/> 否				
	有害な変形の有無	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無				
不等沈下*	最大値のタンク直径に対する割合					
支持力・沈下*	平均沈下量 mm/年					
維持管理体制	過去3年間の特定屋外貯蔵タンクの維持管理に起因する事故の発生					有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
	過去3年間の消防法第12条2項に基づく措置命令					有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
	消防法第14条の2、第14条の3及び第14条の3の2の規定に関する違反					有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
	保安作業従事者に対する適切な教育訓練*					<input checked="" type="checkbox"/> 適・ <input type="checkbox"/> 否
	保安のための適切な巡視、点検*					<input checked="" type="checkbox"/> 適・ <input type="checkbox"/> 否
※受付欄		備考				

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。
 2 法人にあつては、その名称、代表者氏名及び主たる事業所の所在地を記入すること。
 3 *印の欄に関しては、必要に応じ図面、資料等を添付すること。
 4 *印の欄は、記入しないこと。